



《目次》

平成8年度総会と懇親会……………	2	F T会（食品工学科・食品科学工学科）…	13
校友会のさらなる飛躍に向けて……………	3	拓友会（拓植学科・国際地域開発学科）…	14
新しい湘南キャンパス……………	4	むつあい会（短期大学部農学科）……………	15
農学校友会（農学科・植物資源科学科）…	5	生活環境学科校友会	
紫友会（農芸化学科）……………	6	（短期大学部生活環境学科）……………	16
角笛会（獣医学科）……………	7	応用生物科学科校友会	
満喜葉会（畜産学科・動物資源科学科）…	8	（応用生物科学科）……………	17
いもづる会（食品経済学科）……………	9	支部だより……………	18
あすなろ会（林学科・森林資源科学科）…	10	生物資源科学部ダイヤル番号……………	20
桜水会（水産学科・海洋生物資源科学科）	11	校友会役員・事務局名簿……………	22
工学会（農業工学科・生物環境工学科）…	12		

平成8年度総会と懇親会



東京・新宿ホテル・センチュリーハイアットで開かれた平成8年度総会

平成8年度総会・懇親会は7月8日15時より新宿ホテルセンチュリーハイアットで開催された。

総会は「天平の間」において木村貞司事務局長の開会宣言に始まり茂澤果会長挨拶、議長には茂澤会長が選任された後議事へと進行した。議事は平成7年度の一般経過報告、会計決算報告(収入39,153,298円、支出39,153,298円、基金積立金8,056,233円、名簿積立金18,299,754円)に関する報告がなされ、山根勝次監事による監査報告があり承認された。

ついで平成8年度の事業計画に関して会員数67,459人、準会員7,885人が報告された後、総会、懇親会、会報発行、名簿発行準備などが説明された。それらに必要な予算案として収入38,955,159円、支出38,955,159円、基金積立金9,056,233円、名簿積立金19,299,754円の予算案が示され審議の後承認された。

さらに、本年度より学部名称変更に伴い校友会の名称と規約改正が審議され承認された。その他、校友会50周年に向けての行事の準備状況も紹介された。

懇親会は「桃山の間」に会場を移し、66名のご来賓と約130名の会員を迎え茂澤会長の挨拶の後、ご来賓として日本大学常務理事山澤新吾先生並びに生物資源科学部長門田定美先生より祝辞を頂戴した。乾杯の首頭は学部事務局長山内二夫先生のご発声により歓談へと移った。本年は21世紀に向けて計画されている湘南キャンパスのシンボル棟の計画が学部長より紹介されたことから、参加者の注目を集め、校友としての協力を話し合うグループも見られた。

なお、計画中の新棟には現在東京キャンパスの農芸化学科、食品経済学科、食品科学工学科、国際地域開発学科が入ることになっている。



ご来賓による祝杯のご発声



「桃山の間」で開かれた懇親会

校友会のさらなる 飛躍に向けて

日本大学生物資源科学部・農獣医学部
校友会 会長

茂 澤 杲



今年は、アメリカジョージア州アトランタで第26回アトランタオリンピック競技大会が夏に開催され、大学から役員選手45人が日本選手団の一員として参加、まことに正堂堂真摯に健闘され大変感動しました。

また、大学では総長選挙があり、校友会でも役員改選が日本大学校友会（校友75万余名その組織は、都道府県支部65団体・学部別14団体・職域別3団体・海外支部4団体・合計86団体で構成）と生物資源科学部校友会・農獣医学部校友会でありました。

学部では、日本大学農獣医学部が平成8年4月1日から生物資源科学部と改称され、短大を含む13学科のうち7学科が新学科名に改組転換しました。学部が、多年にわたる懸案の新学部名・新学科名に改称するにいたる経緯については、校友会会報第48号に綴りましたのでご覧いただきたいと思います。

3年に1度の日本大学総長選挙では、副総長医学部長の瀬在幸安教授が、第10代総長に決まりました。思い返せば、先生には平成6年7月9日新宿ホテルセンチュリーハイアットで開催の農獣医学部校友会懇親会に大学を代表してご来賓賜わり、日本大学全体を見通して21世紀の大学を考へるご挨拶を頂きました。殊に、現状維持は退歩のはじまりとする先生の信條は感銘深いものでした。

7月9日日本大学校友会役員総会がホテルグランドパレスで開催、役員改選にともない各ブロックから選出された委員による選考委員会が設置され、その結果前総長理事長の瀬在良男教授が、満場一致で日本大学校友会会長に選出されました。直ちに、瀬在良男会長のもとに副会長監事の選考が実施され、都道府県支部より2名、学部から2名、職域より1名、会長指名から2名、合計7名の副会長が選出され、同時に監事3名も決定しました。はからずも私が副会長として選出され、日本大学校友会運営の一旦をつとめることになりました。永い歴史の上に諸先輩の輝かしい業績をふまえ、史実に謙虚に活力ある活動を微力ながら果たしたいと思います。

7月13日学部校友会総会で私が、会長として再選されました。また、3名の副会長監事が決まり、ここに新執行部が発足しました。さらに、校友会会長賞選考委員3名も決まりました。

私は、この時にあたり一層心をひきしめて、つましやかに魅力ある校友会構築のため、そして母校のため校友活動に、ひたむきに邁進してまいります。引続きご支援ご協力賜りますようお願い申し上げます。

末だ農獣医学部の学生（準会員）、2年次以上が在学中なので、卒業まで農獣医学部校友会は存続します。また、生物資源科学部の学生は、新しく発足した生物資源科学部校友会の準会員となります。いずれにしても学部校友会は、準会員を物心両面にわたり、側面から必要なあらゆる機会を提供し支援してゆくことに変わりありません。かかる状況から、双方の名称を併用してゆくことが総会でも決まりました。学部の教職員が4月1日から生物資源科学部の教職員として、農獣医学部に出向する形式をとっています。日本大学の学部名が正式に生物資源科学部となりましたので、日本大学校友会（本部校友会）、都道府県支部校友会、他学部校友会、海外支部校友会に対して、学部校友会は生物資源科学部校友会一つの名称で対応してゆくことに決まりました。

平成10年7月には、学部校友会創立50周年を迎えます。先の幹事会総会において記念事業の一環として、(1)式典・祝賀会の開催、(2)会員名簿の発行、(3)創立50周年記念史の刊行、(4)その他を実施することになりました。

既に実行委員会が発足し、これが達成に活動しはじめました。

回顧しますに、昭和63年農獣医学部校友会創立40周年を迎える折、故庄川洋一会長は、当時記念史編集委員長の私に、学部校友会40周年略史と名うつことは、50年史作成のあくまでもこれが基本台帳であり、小冊子といえども中味の濃い重厚な内容を心がけるよう言はれたことが想い返されます。まことに記念史を綴る意義は、貴重な資料の散逸を防ぎ、歴史をふりかえり、将来の糧として、次の時代への貴重な他山の石ともなることだと思います。

終りになりましたが、常に校友会運営は、日本大学建学の精神を軌範として、諸先輩が築かれた歴史と伝統を、後に続く校友が敬愛し、その結びつきを一層強固なものとしてゆくことではないでしょうか。

校友各位のますますのご発展とご活躍を心から祈念申し上げ、併せて、校友会に対しさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

（日本大学評議員・日本大学校友会副会長）

第10代日本大学総長に瀬在幸安氏 ・副総長に門田定美氏

総長選挙は、6月27日に行われ開票の結果、瀬在幸安候補1,261票、和井内 徹候補1,229票、無効票53票、得票差は僅か32票であった。その結果、瀬在幸安氏が第10代総長に決定した。

また、本学部校友の生物資源科学部学部長門田定美氏が9月1日付で副総長に就任された。さらに9月10日付で山澤新吾常務理事が再任された。

校友会役員の改選

平成8年6月に開かれた分会会長会ならびに、幹事会において全員一致で推薦された紫友会所属の茂澤果氏が7月6日の総会において再選された。また、副会長にはむつあい会会長富澤寿樹、拓友会会長近藤良三郎、工学会会長村田昇の3氏が就任することとなった。

新しい湘南キャンパス

平成8年度より、湘南キャンパスの施設が新しくなった。旧農場本部は生物資源生産実習センターとして移転し、写真のように斬新な施設に生まれ変わった。卒業生の中で農場実習を体験された方には目を

▼生物資源生産実習センター



▼テニスコート



見張るものとなった。

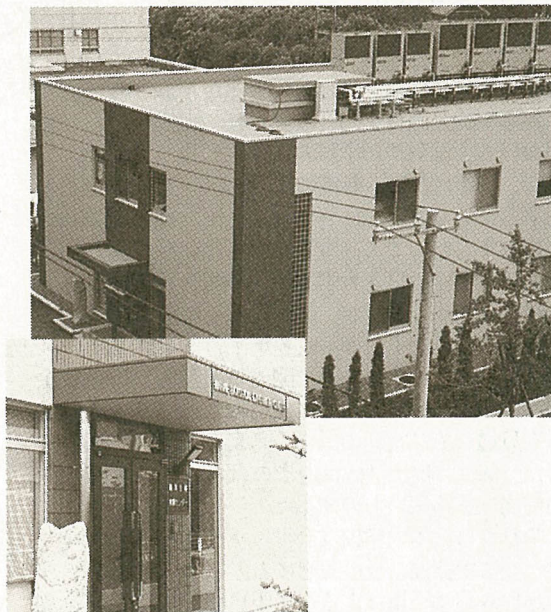
海洋生物実験センターは、海洋生物資源科学科の研究室がある10号館の目の前に新設され、主として海洋生物資源科学科が使用する。

同センターの入口の前におかれた魚や石像は学生や付近の人の話題となり、人気を集めている。

テニスコートは、10号館前から、旧木造校舎にかけて4面のコートが新設された。何と言っても、テニスは人気のスポーツで、新コートを使用している学生の顔は喜びに満ちている。

キャンパス周辺の住民の方々に長い間迷惑をかけていた学生の違法駐車も、写真のような400台駐車可能な学生用大駐車場ができてから改善された。大学側は無制限な利用ではなく、学生の必要に応じて利用の幅を広げる様子で現在は余裕のある状態である。

▼海洋研究センター



▼学生用大駐車場



農 学 校 友 会

◇農学科・植物資源科学科◇

連絡先 花卉園芸学研究室
0466-84-3621 米田 和夫

植物資源科学科第1期生誕生

新学科での第1期生147名(女子63名)を迎え、学科教員、上級生も交えての新入生歓迎オリエンテーションは、5月13日(月)湘南鵠沼海岸で開催されました。環境問題を学問領域とする学科であることの問題提起も含めて海岸の清掃を行い、その後、地引網を引き漁獲物で昼食をとり、和気あいあいの中に有意義に終了しました。新しい学科の歴史を創るであろう第1期生147名に声援をおくります。



新入生歓迎オリエンテーションでの記念撮影(鵠沼海岸で)

農場本部棟の完成

長い間、農学科としても懸案だった農場本部棟が生物資源生産実習センターと名称を新しくして完成しました。講義室、視聴覚室、研究室、更衣室(シャワー付き)、研修生自習室、宿泊室等を備えており、一段と圃場を使用した実践教育に磨きかけられるようになりました。詳細については本号の施設案内をご覧ください。

就職斡旋の依頼

校友の皆様もすでに御存知の通り例年になく就職難で、校友の皆様のお力をお借りしたく、首都圏を除き、情報不足になりがちな地域の校友に企業(今回は公の機関を除きました)の紹介をお願いしましたところ多くの協力が得られました。ご協力ありがとうございました。なお、学科の就職係は野村(84-3625)、藤井(84-3620)です。今後ともよろしくお願い致します。

学科の近況

本年4月から岩野秀俊先生が助教授に昇格されま

した。引き続き米田和夫先生が学科主任、石井賢治先生が学生担当、坪木良雄先生が生物資源生産実習センター長として活躍されています。また、副手として本年3月農芸化学科を卒業された山越聖子さんが就任されました。

研究室終日直通電話

各研究室の電話がダイヤルイン(市外局番0466)になりました。

作物学 84-3620	花卉園芸学 84-3621
果樹蔬菜園芸学 84-3622	遺伝育種学 84-3625
植物病理学 84-3626	応用昆虫学 84-3627
造園学 84-3628	緑地環境計画学 84-3623

事務局からのお願い

名簿の表紙を飾っているキャンドルの灯を明るくする係として、名簿は従来通り葉山(84-3628)、会費は野村に代わり磯部(84-3620)が担当します。会の運営を円滑にし、校友の皆様との連絡が途絶えないためにも住所変更等の際には、ご面倒でも事務局にも御一報下さい。(藤井 秀昭)

紫 友 会

◇農芸化学科◇

連絡先 植物栄養生理化学研究室
03-3421-5492 長谷川 功

平成7年度総会・懇親会を開催

平成7年度の紫友会総会が平成7年11月18日虎ノ門パストラルで開催された。茂澤会長長の挨拶の後、平成6年度の事業報告、決算報告、監査報告ならびに平成7年度の事業計画、予算案について厳正に審議がなされ、いずれも承認された。総会終了後、多数の来賓と会員が出席し懇親会が盛大に行われた。懇親会には、紫友会1995年度（第2回）奨学生が招待され懇親会の席上で表彰が行われた。

農芸化学科の近況

〈人事〉

石井謙二教授（食品化学研究室）が平成8年3月31日をもって退職された。石井先生は1950年に日本大学農学部を卒業以来、46年にわたり本学で研究・教育に心血を注がれてきた。在職中は学科主任、大学院専攻主任、研究担当、総合研究所次長等を歴任され農獣医学部、農芸化学科の発展に御尽力くださったばかりでなく、日本栄養・食糧学会などの評議員や、Chemical Abstractorとして学界の発展のために貢献された。また、長年にわたり紫友会の事務局長をお勤めになり本会の発展のためにも御尽力くださった。紫友会では石井先生を平成8年度総会後の懇親会（平成8年11月14日）に御招待し、これまでの先生のご尽力に感謝致すとともに先生の功績を称え記念品を贈呈する予定である。石井先生には本年4月1日以降も生物資源科学部非常勤講師としてご指導いただいている。

奥 忠武先生（生物有機化学研究室）は平成8年4月1日をもって教授に昇格された。現在農芸化学科の教授は6名となり、教授陣が強化された。高橋令二専任講師（微生物学研究室）は平成8年3月、『化学合成独立栄養性硝化細菌の生化学的研究』で日本大学より博士（農学）の学位を授与された。関 泰一郎専任講師（栄養生理化学研究室）は1年6ヶ月にわたる米国ミシガン大学での研修を終え本年1月帰国した。

〈平成8年度第3回紫友会奨学生決定〉

紫友会40周年記念事業の一環として発足した紫友会奨学生の第3回生10名が、同奨学生選考委員会により厳正に選考され下記のように決定した。第3回紫友会奨学生の表彰は本年11月の紫友会総会・懇親会時に行われる。

▽2年次 山口 薫、菊池由紀、西沢美智子、▽3

年次 安田真紀、早戸由美、紙屋伸成、▽4年次 森本淑子、長島裕高、石井 圭、▽大学院農芸化学専攻1年 門倉一成

〈農芸化学科運動会で大健闘〉

本年5月25日（土）に湘南校舎で開催された運動会で農芸化学科は堂々準優勝した。準優勝記念としてキャビネ版集合写真を1年次学生に紫友会より贈呈した。

紫友会事務局より

平成8年度総会・懇親会が11月14日（土）に開催されます。懇親会では石井先生をはじめ現役学生の紫友会奨学生までが一同に会し、旧交を暖め楽しいひとときを過ごせると思います。奮ってご出席くださいますようお願いいたします。

景気回復の兆しが見え始めたといわれつつも、女子学生の就職戦線は難航しているのが現状です。

今後とも引き続き会員諸兄のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。（関 泰一郎）



角 笛 会

◇獣医学科◇

連絡先 獣医臨床繁殖学研究室
0466-84-3644 津曲 茂久

角笛会総会を開催

平成8年度の角笛会総会が、さる5月11日(土)に日本大学生物資源科学部湘南キャンパスで開催された。総会では日比野次郎会長のあいさつの後、平成7年度の事業報告・決算および平成8年度の事業計画・予算案等が慎重に審議され、承認された。総会終了後、門田定美学部長をはじめ多数の来賓・会員が出席して懇親会が盛大に行われた。

参加した会員からは、湘南キャンパスの整備・充実ぶりに感嘆の声が多く聞かれた。

開院1周年を迎えた 動物病院 (ANMEC)

昨年の5月に湘南キャンパスに開院したANMECは、獣医学科の臨床教育・研究の拠点として、また診療を通じて地域社会に大きく貢献している。開院後1ヶ年の診療件数は延べ約3000例で、臨床系教員と、9名の非常勤講師(うち8名は角笛会会員)ならびに10名の研修医が診療にあたっている。画像診断を要する症例も多く、MRI、CT検査例も230例を越えている。このように角笛会から寄贈されたCTがフルに稼働している状況である。臨床セミナーも毎月開催され、角笛会会員も多数参加している(詳細・内容等は角笛会報12号をご覧ください)。

獣医学科の近況

勝部泰次教授(獣医公衆衛生学)は、学部執行部の研究担任に、また月瀬東教授(獣医解剖学・40年卒)が同就職指導担当に再任されました(平成8年3月21日付)。

○退職

保刈成男教授(獣医薬理学)は定年により平成7年12月26日付で本学を退職なされました。また、鷹見可奈子副手(獣医伝染病学)が平成8年3月31日付で退職されました。

○新任

中山陽子副手(本学応用生物科学科卒)が獣医伝染病学研究室に、貝瀬由美子副手(本学農学科卒)が獣医臨床病理学研究室にそれぞれ着任されました。

○昇格

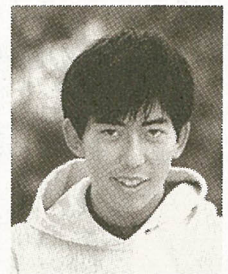
田中茂男先生(獣医外科学)が教授に、浅野隆司

水口純子君・山本欣也君に 栄えある角笛会会長賞

学業成績・人物ともに優れている卒業生(男女各1名)に贈られる角笛会会長賞が、水口純子君・山本欣也君の両君に贈られた。受賞は、去る3月26日に、横浜メルパルクで行われた獣医学科の謝恩会の場を借りて、日比野次郎会長から両君に賞状と記念品が贈られた。記念品は、CDのオーディオ製品で、豪華な贈り物に卒業生からの羨望の声が上がった。



水口 純子君



山本 欣也君

先生(獣医薬理学)が助教授に、森友忠昭先生(魚病学)専任講師にそれぞれ昇格されました(平成8年4月1日付)。

○異動

太田亨二先生と長尾壮七先生は研究所教授に、藩英仁先生(研究所教授)は教授(獣医臨床病理学担当)に異動されました。獣医衛生学研究室は獣医疾病予防学研究室と合併し、酒井健夫教授が担当されます。

また、榎原晶子副手(家畜病院)は獣医第二病理学研究室に異動となりました。

○海外出張

日本大学の海外派遣研究員として英国に出張していました鎌田寛先生(獣医微生物学)は平成8年3月25日に帰国されました。

※ ※ ※ ※ ※

校友会の大切な事業の一つに名簿の整備があります。現在、新しい名簿の整備、編集作業が進められています(担当:鎌田寛先生)。住所変更や結婚等による氏名の変更がございましたら事務局までご連絡下さい。

近年、女子学生の増加に伴い、就職先に小動物臨床の勤務医を希望する学生が増えています。会員各位からの求人は就職指導課および6年次担任(門井教授・桑原助教授)までお寄せ下さい。

(金山 喜一)

満喜葉会

◇畜産学科・動物資源科学科◇

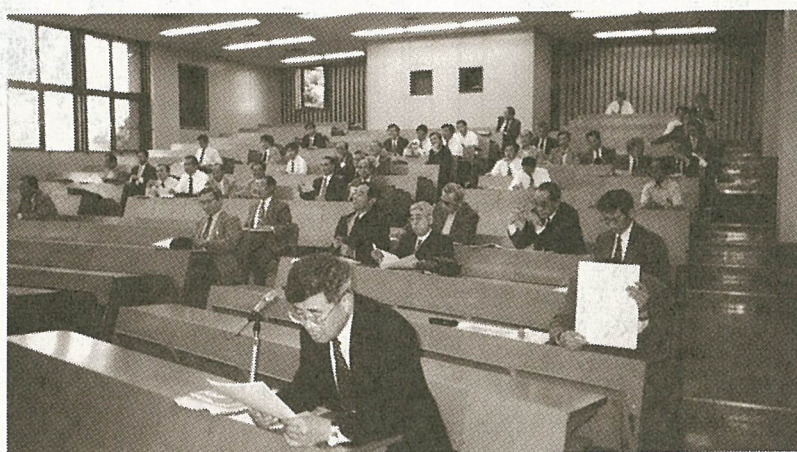
連絡先 飼養学研究室
0466-84-3659 小牧 弘

満喜葉会総会を開催

6月1日(土曜日)に湘南校舎で総会が開催された。総会に先立って開催された理事会並びに幹事会で、平成7年度事業経過並びに会計決算が事務局より、会計監事より監査結果が報告され承認された。平成8年度の事業計画並びに予算案について事務局より提案され、審議後原案通り承認された。会則の

改正案について事務局より提案され、多少の修正の後、総会で審議する原案として承認された。役員の任期満了に伴う新役員の候補者について提案され承認された(新役員については満喜葉会報に掲載)。平田芳弘新会長の就任挨拶の後、日本大学満喜葉会創立50周年記念事業について活発な意見交換が行われた。

総会では、理事会並びに幹事会で審議された会則の改正案が事務局より提案され承認された。その主な変更点は、学部学科名称の変更に伴う会員資格の変更と共に、副会長を3名から5名に、理事を20名以内から30名に、理事会と幹事会は合同で役員会を開催することができるなどで、本会の活性化を目指した会則改正として期待されるものである。



満喜葉会の総会

50周年記念事業の準備状況

満喜葉会50周年事業の準備は、これまでの準備委員会の構成メンバーに新たな会員を加えた満喜葉会50周年記念事業実行委員会(本年6月1日発足)が中心となって本格的に開始することとなった。この実行委員会は7つの小委員会から構成されており、本部の委員長を新会長の平田芳弘氏(昭和27年卒)、総務企画委員会の委員長を副会長(留任)の岩間脩氏(昭和36年卒)、記念誌の刊行に携わる刊行委員会の委員長を矢沢好幸氏(昭和37年卒)、名簿委員会の委員長を松田字一郎氏(昭和41年卒)、財務委員会の委員長を内田駿一氏(昭和38年卒)、広報委員会の委員長を山本不二男氏(昭和36年卒)そして式典委員会の委員長を新副会長である小黑昭司氏(昭和27年卒)にお願いし、現在各委員会は来たる5月17日の式典に向けて活動している。

学科の近況

今年度の当学科の志願者数(一般入試)は前年度に比較して1.64倍と著しく増加した。これは学科名

称を従来の畜産学科から動物資源科学科とし、その教育内容についても動物分野における生命科学、

人類の健康と福祉に役立つ産業動物(家畜・家禽、実験動物、伴侶動物)に関する科学、自然環境保全の一環としての野性・半野生動物に関する科学の3分野としたことも影響したと考えられる。また初めて学科主催のオーストラリア研修旅行(7/30~8/11: 35名参加)を実施し、アローラの坂口牧場(坂口洋一氏: 当学科昭和63年卒)等を見学すると共にクイーンズランド大学でオーストラリアにおける野生動物の保護等に関する講義を受け有意義な時間を過ごし無事帰国した。

事務局からのお願い

明年5月17日(土曜日)に満喜葉会創立50周年記念式典を挙行政致しますが、総会・幹事会などへの若手会員の参加が一段と減少しており事務局として危惧が否めません。この50周年記念式典をチャンスに同期会などを企画し、多くの会員が参加して頂くことを切に希望しております。

(増田 哲也)

いもづる会

◇食品経済学科◇

連絡先 食生活経済論研究室
03-3421-5654 安村 碩之

平成8年度

幹事会・懇親会を開催

昨年度の総会で可決された活性化に向けての新制度にもとづく、初めての幹事会と懇親会が、去る6月1日(土)午後4時30分より三軒茶屋銀座アスターで開催された。本年度は役員改選の年にあたるが、幹事会において会長・副会長・会計監事はそれぞれ満場一致で再任された。事務局長は上野恒雄助教授から安村碩之助教授にバトンタッチされ、これに伴い事務局の役割分担も一新した。

いもづる会役員

会長	三木敏夫(3期)	
副会長	村山 進(10期)	小林忠夫(14期)
	千田 徹(21期)	高野浩臣(24期)
会計監事	横川 屹(21期)	井上和美(32期)
事務局長	安村碩之(22期)	
次長	下渡敏治(28期)	

いもづる会50周年

記念事業小委員会スタート

平成10年に迎えるいもづる会50周年に向け、50周年記念事業小委員会が、7月12日(金)東京校舎で

開催された。記念式典・祝賀会は、平成10年6月に都内ホテルで開催することが決定し、参加人員は約300名を予定している。記念事業の企画としては、『いもづる会会員名簿』の発行と50周年記念式典・祝賀会の開催を柱とし、これからさまざまな企画が検討されるが、記念事業にふさわしい企画を思い付かれた方は事務局まで御一報頂きたい。

《学科 よもやま話》

今年、食品経済学科は170名の新入生を迎えたが、そのうち約3割の48名が女子学生(4年次は34名)で、一段と華やかになった。3・4年次を対象とした学科就職セミナーも4月23日(火)例年通り開催され、超氷河期の就職戦線といわれるなかで、今年も30数社の企業の参加を得た。就職セミナーは、来年度も予定されており、1社でも多くのOB企業の方々にも参加して頂きたい。4月27日(土)には、新入生歓迎研修会を横浜港<輸入果物の実態見学>等で実施した(写真掲載)。また、5月25日(土)に実施された学部運動会では、森林資源学科の10連覇を阻み、優勝を成し遂げた。学科としては10年ぶりの優勝であり、連覇を目指し来年度の1年次担任に期待が寄せられている。上記行事にはいもづる会の協賛を得た。

今年で5年目を迎える3年次開講の特別講義は国際流通グループヤオハンの和田一夫代表ほか当社のスタッフを招き、9月10日(火)~12日(木)の3日間で実施された。

学科人事では、山根勝次教授、関淳子副手が退職され、千葉大学より清水隆房教授(研究所)と当学科卒業生の磯田みゆき(旧清水(40期))専任講師、本年3月卒の大澤眞弓副手(50期)がそれぞれ着任した。学科のより一層の充実・発展を期待したい。

(木島 実)



あすなろ会

◇林学科・森林資源科学科◇

連絡先 木材科学・工学研究室
0466-84-3668 濱本 和敏

総会・懇親会を開催

隔年開催の林学科校友会総会並びに懇親会が、平成 7 年 10 月 7 日（土）午後 3 時より湘南校舎において開催された。

総会は、10 号館 1021 講義室にて行われ、鹿野会長挨拶の後、平成 5・6 年度の事業経過報告、会計報告、監査報告等が行われ満場一致で承認された。さらに、学科の湘南校舎移転（平成 7 年）、学部改組に伴う「林学科」から「森林資源科学科」への学科名称変更（平成 8 年）等を機に「林学科校友会」の名称を「あすなろ会」と改名し、校友会会報として「あすなろ」を発行することが決定された。また、湘南校舎への移転を記念して第 30 期卒業生（昭和 56 年卒）大和田幸男氏作の絵画「心元」（しんがん）を、林学科校友会から学科へ寄贈したことが事務局より報告された。なお、この作品は、森林資源科学科の研究室が入っている湘南校舎 10 号館玄関ロビーに展示される予定である。

総会終了後、会場を学部食堂棟 3 階の NUSC ホールに移して懇親会が開催された。全国から約 80 名の校友が参加し、来賓の方々と交えて終始和やかに歓談の輪が広がり、盛会のうちに終了した。



平成 8 年度あすなろ会（林学科校友会）

幹事会を開催

平成 8 年 7 月 26 日（金）午後 5 時より日本大学会館において平成 8 年度あすなろ会幹事会が開催された。

当日は各期の幹事約 20 名が出席し、平成 7・8 年度の事業経過報告、会計報告等が行われた。また、平成 9 年度の事業計画等が討議され、林学科校友会創立 45 周年にあたる来年度に記念事業を行うこと（平成 9 年 10 月予定）が決定され、委員会が発足

した。

学科の近況

平成 8 年 4 月 1 日、瀧澤英紀助手（森林環境保全研究室）が着任された。瀧澤助手は東京農工大学農学部林学科をご卒業後、同大大学院に進まれ、本年 3 月博士課程連合農学研究科資源・環境学専攻を修了された。



瀧澤英紀助手

また、濱本和敏先生（木材科学・工学研究室）が本年 4 月より教授に昇格された。両先生の益々のご活躍が期待される。なお、昭和 62 年 4 月着任以来、学科の発展にご尽力下さっている難波宣土教授（森林環境保全研究室）が、本年 11 月 4 日をもって定年退職される予定である。

平成 7 年度林学科校友会会長賞受賞者

平成 7 年度林学科校友会会長賞に下記の 6 名が決定し、平成 8 年 3 月 25 日の卒業式終了後、横浜ニューグランドホテルにおいて行われた謝恩会にて鹿野会長より記念品が贈られた。

増本 聡（森林・緑地造成ゼミ 山形県庁）
政水美智子（林業経営ゼミ ㈱バナホーム新大阪）
橋本和樹（木材科学・工学ゼミ 春日製紙工業㈱）
桑田武史（森林・緑地保全ゼミ ㈱地熱）
杉原政男（森林動物ゼミ ㈱水研クリエイト）
栗国嘉隆（住宅・流通ゼミ 東京農工大学大学院農学研究科）

事務局より

学生を取り巻く昨今の就職環境は極めて厳しくなっています。貴社等で卒業生の採用を考えていただける会員諸氏は、上記連絡先までご一報いただければ幸いです。

前報でもお願いいたしましたように、会員の動向を的確に把握するため、住所変更、氏名の変更等がございましたら、お手数でも事務局までご連絡下さい。また、今後の本校友会活動をより円滑に行うため、すでにご案内済みの終身会費納入にぜひご協力下さいますようお願い申し上げます。

（宮野 則彦）

桜 水 会

◇水産学科・海洋生物資源科学科◇

連絡先 水産生物学研究室
0466-84-3677 (内2160) 小橋 二夫

残暑お見舞申し上げます。…と言っても校友諸兄姉にこの会報がお手元に届く頃には秋風が心地よい季節になっていることでしょう。

昨年は阪神・淡路大震災から始まって地下鉄サリン事件と息付く暇もなく社会的大事件が発生致しましたが、今年も大腸菌 O-157 による集団中毒発生など水産関係、特に生鮮海産物などを扱っている校友の皆様には精神的、経済的な負担が大きいものと推察しております。

平成8年度

総会・懇親会の開催

平成7年度のこの会報を発行してから現在までの桜水会および学科内の動向をお知らせ致します。

平成8年度の総会が6月22日(土)に湘南校舎10号館で開催されました。出席者は50名程でしたが、総会に先だって開催された理事会・代議員会で承認さ



れた平成7年度事業報告、決算案、平成8年度事業計画・予算案の報告を受け、代議員の選挙を行った後に別室で開かれた代議員会によって選出された新会長および役員人事の報告を受けました。その後、場所をNUSCホールに移して他分会の会長および学科教員をも招待して懇親会が行われ、和気藹藹の雰囲気の中に時間の経つのも忘れて話に花を咲かせておりました。

新役員・事務局人事

平成8年度の代議員会で平成8年度から10年度までの桜水会の役員が選出されましたので報告致します。

会 長 竹内 均(2期)

副会長 桜木 進(10期)・田中祥皓(13期)

監事 大谷木緑四郎(2期)・安原健允(7期)
また、その後開かれた理事会で歴代の会長経験者に相談役の就任を委嘱することになりました。

支部役員

関西支部

支 部 長 黒岩 和(1期)

幹 事 井上忠男(13期)

東海支部

支 部 長 青木久尚(1期)

幹 事 室伏 誠(22期)

事務局

事務局長 小橋二夫(13期)

会 計 松宮政弘(27期)

庶 務 木下淳司(42期)

吉原喜好(14期) 学部校友会会報編集委員)

安斎 寛(27期) 学部校友会名簿編集委員)

青野英司(40期) 桜水会会報編集担当)

学科の動向

昨年3月に六会の地に移転して1年、今年4月には水産学科が海洋生物資源科学科に名称変更となり何かと慌ただしい1年半でした。まずお詫びと訂正をしなければなりません。本来ならば今年の会報でお知らせしなければいけなかったのですが、11期の広瀬一美先生が平成7年4月に教授に昇格され、魚医学研究室という日本で唯一の研究室を構えられました。編集子がかうかつで、ご本人に対し大変失礼なことを致しました。さて、本年5月に余座和征助教授が一身上の都合で退職されました。新しい社会でのご活躍を期待しております。

我々が研究室を構えているのは10号館ですが、その向かいに新しく2階建の海洋生物実験センターが建設され、この4月から共用が開始されました。1階は水槽室など、2階は遺伝子解析室を始めとするバイオテクノロジー関係の実験室が並んでおります。まだ準備段階ですが、あと数年もするとこのセンターから立派な業績が生み出されるでしょう。

この1年間の桜水会と学科の動向をお知らせ致しました。卒業生諸兄姉には益々ご健勝にてお過ごし頂けるよう祈念致しますが、校友会活動にも積極的にご参加下さるようお願い致します。

(吉原 喜好)

工 学 会

◇農業工学科・生物環境工学科◇
連絡先 農地整備学研究室
0466-84-3694 斎藤 公三

総会と懇親会開催

平成7年11月18日、15時より湘南校舎（旧藤沢校舎）において総会ならびに懇親会が開催されました。総会では一般経過報告の後、平成6年度の決算報告、平成7年度の事業計画、予算案が満場一致で承認された。この後、16時30分よりNUSCホールで懇親会が行われた。和気藹々とした中で会は終了したが、聞くところによりますますかなりの方が場所を変えて更なる懇親を深めたようです。

記念品のTシャツが決定される

本年4月より農業工学科は生物環境工学科に名称が変わりました。それに伴い、工学会OBから新校友へ記念品を送ろうという案が企画検討委員会で検討されていましたが、その記念品としてのTシャツが完成し、さっそく生物環境工学科1年生にプレゼントされました。Tシャツは企画委員会が学生の授業における実習着としても遜色無いようデザイン、柄、生地を気を配ったものだけに工学会事務局も文句のつけようがないのでした。学生は運動会で学科のユニフォームとして着用、競技に参加しました。学生の評判も良いようです。



工学会からのTシャツで運動会に参加した1年生

新役員が決定

平成8年6月15日、東京校舎第1会議室において幹事会が開催され、工学会第12期の理事が選出された。新役員は下記の通りです。

会長	村田 昇	(昭和41年卒)
副会長	新藤 薫	(昭和43年卒)
〃	酒川和夫	(昭和47年卒)
〃	鈴木昌二	(昭和49年卒)
会計理事	鈴木重則	(昭和52年卒)
理 事	岩川重雄	(昭和38年卒)
〃	戸崎紘一	(昭和39年卒)

〃	陳尾友行	(昭和42年卒)
〃	新井宏枝	(昭和44年卒)
〃	比留間速男	(昭和48年卒)
〃	馬目雄一	(昭和51年卒)
〃	玉川雅仁	(昭和54年卒)
〃	内藤泰征	(昭和57年卒)
〃	工藤謙一	(昭和58年卒)
〃	田上もと子	(昭和60年卒)
〃	加古師幸	(平成2年卒)

なお、学部幹事会へは村田 昇、鈴木昌二、斎藤公三の3名を選出した。また、事務局長も世良田先生より斎藤先生に変わりました。

旧役員の方々どうもご苦労様でした。新役員の方々にはこれからのご活躍を期待しております。

学科の動向

世良田和寛先生と河野英一先生が本年4月より教授に昇格されました。両先生の今後のご活躍を期待しております。なお、世良田先生は工学会から初めて教授にられました。校友の更なるご活躍をお願いしたいと思います。

事務局より

平成8年3月16日、元農業工学科教授の林 直幹先生がご逝去されました。先生は長い間、学科主任をされるなど学科のために貢献された方でした。謹んで哀悼の意を表したいと思います。

また、7月31日には志村博康教授がご逝去されました。先生は平成4年、東京大学より来られ日本学術会議第6部長として、まだまだご活躍が期待されていた先生でした。謹んで哀悼の意を表したいと思います。

(川西 啓文)

F T 会

◇食品工学科・食品科学工学科◇

連絡先 食品理化学第3研究室
03-3421-6075 竹永 章生F T 会創立30周年
記念祝賀会を開催

本会の創立30周年記念祝賀会が平成7年10月14日、卒業生・ご来賓の方々あわせて200余名の出席を得、盛大に行われました。祝賀会に先立ち総会では平成6年度事業報告及び決算報告、平成7年度事業予定及び予算が拍手をもって承認され、また、役員の承認については理事会に一任することが承認されました。祝賀会は野田義人F T会会長の挨拶に始まり、茂澤早農獣医学部校友会会長、門田定美農獣医学部長、露木英男学科主任、その他多くのご来賓の方々より、ご祝辞を賜りました。乾杯の後、いたるところで校友の学生時代の懐かしい話やお互いの近況の交換をし、また、恩師との再会を喜ぶ場面が多く見られました。途中アトラクションも加わり、祝賀会は大いに盛り上がりました。祝賀会にご出席くださいました皆様に心よりお礼申し上げます。

新会長に関村氏

平成8年7月13日に理事会が開催され、新役員が選出されました。会長・理事に関村具由氏(1期)、副会長・理事に大瀧博久氏(6期)、理事に大高和歌子氏(23期)が選出されました。旧役員の方々ご苦労まででした。また、新役員の方々にはこれからのご活躍を期待しております。



【新会長からの一言】私は平成8年7月13日の理事会において野田前会長の後を受けて校友会会長の大役を仰せつかりました。学科が設立されてから30数年が過ぎ、校友の皆様におかれましては社会や職場で重要な位置におられ、ご活躍のこととされます。私は校友会の主たる目的は会員相互の振興に貢献することと考えています。校友各位が懇親会に多数集まって親睦を深め、社会や職場での経験を準会員(在校生)の学生生活(就職活動など)に活かし、準会員(在校生)にも校友会の在り方といものを明確にしていきたいと考えています。会員各位が忘れかけていた日本大学生物資源科学部食品科学工学科会則を思い出していただきたく列記させていただきました。校友の一人として心一つにして校友会の運営にあたらせていただきたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。最後に、

校友各位のますますのご健勝、ご活躍を祈念申し上げてご挨拶とさせていただきます。

学 科 人 事

矢野信禮教授(食品保蔵学研究室)は本年3月3日、原田真子副手(食品分析学研究室)は3月31日、そして長年に亘って学科の発展に尽力されました露木英男教授(食品理化学研究室)が7月22日で本学を退職されました。今後ともご健康でご活躍されますことをお祈りいたします。また、今春より本学科に松藤寛氏(食品分析学研究室)が助手として採用されました。松藤助手は平成3年九州大学農学部食糧化学工学科を卒業後、同大学大学院農学研究科に進学し、平成8年博士後期課程を修了されました。今後のご活躍を期待します。



【新任の先生から一言】私は大学時代、食品分析学研究室・箆島豊教授の下で高血圧の発症を抑制・予防する機能性食品を分子レベル及び動物実験を通じて設計するとともに、生体内での高血圧発症機構の解明について研究を行ってきました。高校、大学とバレーボール部に所属し、そのとき培った体力と根性だけで大学の9年間、特に大学院の5年間を過ごしてきたようなもので、頭より体を使うほうが得意です。

高校までは大阪で育ち、その後9年間は福岡にいたため、こちらでの生活は初めてで学内のことはおろか、東京の右も左もわからず戸惑っています。本学では今までに得てきた知識と経験を役立てながらいろいろなことにチャレンジし、研究者として、また、教育者として大成できたらと思っています。

学位の授与

荻原博和専任講師(昭和55年博士前期課程修了)は「ガス制御包装が食肉の微生物叢と保存性に及ぼす影響」により、また、竹永章生専任講師(第16期・昭和58年博士前期課程修了)は「貯蔵中における食品の脂質劣化とその防止に関する研究」により日本大学より農学博士の学位を授与されました。

事務局より

現在、大学生の就職活動において女子学生の活動は非常に厳しい状況におかれています。会員の方で女子学生の就職に関してご意見や情報がございましたら、事務局までご一報ください。会員各位のご協力をお願い致します。また、卒業後25年を経過した会員からは新規に会費を納入していただいております。卒業期によっては会費納入用振込用紙が同封されますので、諸般の事情をご理解の上、ご協力のほどよろしくお願いいたします。(阿部 申)

拓 友 会

◇拓植学科・国際地域開発学科◇
連絡先 経営学研究室
03-3421-6437 早川 治

平成8年度 拓友会総会と懇親会

平成8年度拓友会総会が平成8年6月28日(土)、日本大学生物資源科学部湘南キャンパスにおいて開催されました。

第1会議室で開かれた総会では、例年通りの議題に加えて、拓友会創立50周年・国際地域開発学科(旧拓植学科)60周年記念事業について検討、了承され、実行委員会(委員長近藤良三郎氏)が結成されました。

総会に引き続き、NUSC3F大ホールで懇親会が開催され、月瀬就職担当の挨拶、広瀬国際地域開発学科主任挨拶、近藤会長の挨拶があり、拓友賞の授与に続いて、工藤顧問の発声で乾杯が行われ、歓談に入り、いたるところで和やかな懇親の輪が見られました。最後に新しく就任された佐藤副会長の挨拶で開きとなりました。

拓友賞決まる 留学生2人に奨学金

平成7年度拓友賞受賞者は優等賞に卒業生の中から井上大介、山田寛之の両君が選ばれました。また平成8年度奨学賞は2年次、李建博君(マレーシア出身)と3年次、殷 珊さん(中国出身、遠藤ゼミナール所属)が選ばれ、拓友会の懇親会の席上で賞状と奨学金が授与されました。

殷
珊さん



李
建博さん

平成8～10年度 会長・副会長の紹介

拓友会の顧問・参与・会長・副会長・監事は次の方々です。幹事の方々は各期から2名出ていますが、人数が多いので人数だけあげました。その中から常任幹事が選出され、会の運営に当たっていますが、今回は副会長以上の方々を紹介します。(敬称略)

顧問 工藤裕久、岡田正男

参与 北川 休、小岩定雄、木村正之、小久保秀一

会長 近藤 良三郎(4期)

副会長 山澤新吾(5期)、水野包男(6期)、浜口

喜博(10期)、下条勝利(13期)、佐藤 猛(15期)

常任幹事 10名

幹事 39名

監事 2名

学科の動き

【訃報】宮崎 宏教授が神経内分泌腫瘍のため、平成8年3月14日に永眠されました。享年63才。謹んでご冥福をお祈りいたします。

(緒方 行広)

む つ あ い 会

◇短期大学部農学科◇

連絡先 植物生体制御学研究室
0466-84-3745 楠元 守

総会・懇親会を開催

平成8年度むつあい会総会並びに懇親会は、6月15日(土)15時より湘南校舎で開催された。

総会は、食堂2階で開催され、山本正義副会長の開会の辞・富沢寿樹会長の会長挨拶に続いて、議長に天野六江氏(4期)を選出、平成7年度一般経過報告及び事業報告を楠元事務局長が行い、承認された。さらに平成7年度会計報告と、横関敏治監事の監査報告があり、承認された。また、平成8年度予算及び事業計画も原案通り承認された。

今年は役員の改選期に当たり、会長には富沢寿樹氏が再選され、副会長には富樫利男・岡元哲郎・鈴木勝春、監事に江場秀造・滝沢 章氏が選出された。事務局長・会計・名簿・庶務・理事は留任となった。

6号議案として、会則の改正が提案され、提案通り承認された。すなはち、農獣医学部は今年度の入学生から新学科になったこと、役員の名称を事情により他の分会と同様にする必要が生じたことなどのために、農獣医学部を農獣医学部・生物資源学科学部と併記、理事を幹事、監事を監査、監事を評議員に変更することになった。

総会終了後、隣接の教職員食堂で恒例の懇親会を開催、来賓として門田定美学部長をはじめ、農獣医学部・生物資源学科学部校友会会長茂澤 泉氏とともに各分会会長、短期大学部農学科の諸先生のご出席いただき、また、会員及び準会員(在学生)の多数のご出席により、盛会裡に終了した。

来年度も、総会がさらに盛大に開催されるように、多数の会員の皆様のご出席をお願いいたします。

学 科 の 近 況

農学科では、3月に68名(45期)が卒業して正会員となり、4月に67名の新入生を迎えた。2年生は58名で、合計125名が在籍している。本学科では、新しい時代の流れや学生のニーズに対応するための検討を続けてきた結果、今年4月の入学生からカリキュラムを変更するとともに、植物生産環境コースと植物細胞工学コースに名称を変更した。1年生は安斎 寛・助教授、2年生は土岐知久教授が担任で、人事には変更はありません。

事 務 局 か ら

会員総数は、2,759名となりました。住所変更・結婚などによる改姓等があった方は、ご面倒でも、事務局までお知らせ下さい。(楠元 守)



生活環境学科校友会

◇短期大学部生活環境学科◇

連絡先 環境科学研究室
0466-84-3750 飯塚 統

平成7年度の総会および懇親会が11月22日横浜中華街、大珍楼新館で盛大に開催された。総会には各分科会々長11名が出席され、当会員参加者は89名参加のもと飯塚事務局長の司会で開会、来賓として学部校友会茂澤早会長の挨拶のあと、議長に飯塚事務局長が選出され議事に入った。平成七年度の事業計画、収支決算報告、監査報告などが行われいづれも原案どおり承認された。総会終了後懇親会が行われ会員間、会員と教職員の親睦が一層深められた。

軽井沢学外研修

4月20日より4月21日の2日間の日程で、日本大学軽井沢研修所で学外研修が実施された。本年度は従来の方法とは異なり、現地集合し現地解散で実施したが集合時間に一人の遅刻者もなく全員集合した。参加者は1年生116名(男子11名)、2年生10名(男



子4名)であった。井上学科長の講話に続き、軽井沢役場の方による「軽井沢の環境と生活」と題しての講演と映画による説明会があり軽井沢の歴史と自然を知ることができた。またこの研修の目的は新生ガイダンス、学生間および学生と教職員との交流、親睦であり、大変有意義な研修であった。

食生活コース
住環境コース

学外研修

例年実施されている特別演習Ⅱの学外研修が食生活コースは12月17日から3日間、沖縄本島に住環境コースは京都方面に12月17日から3日間、実施する予定である。

コンクール入賞

平成8年度、第22回全国造園デザインコンクール(主催:社団法人日本造園建設業協会、共済:社団法人日本造園コンサルタント協会他、後援:文部省他)に住家庭園部間、大学生の部において住環境コー

ス2年藤田等子さんの作品が全35点応募のうち「佳作」を授賞した。

学内で実施される各種技能検定試験

- (1)トレース技能検定試験(主催:財団法人実務技能検定協会)平成7年度は10月15日、第24回トレース技能検定試験が行われ、1級2名、2級14名13級35名の合格者を出した。試験委員は飯尾、島田両助教授、問い合わせは飯尾助教授(0466-84-3751)まで。
- (2)ワープロ技能検定試験(主催:日本情報処理教育普及協会)試験は本学4号館のコンピュータ実習室で実施している。平成7年度は1級2名、2級7名、3級17名の合格者を出した。
- (3)Lotus 1-2-3表計算処理技能認定試験(主催は(2)と同じ)
平成7年度は2級5名、3級15名が合格した。(2)、(3)についての問い合わせは情報処理研究室の青山助教授(0466-84-3746)まで。
- (4)英検(主催:財団法人日本英語検定協会)
本年度より坂本助教授の発案により、英検を学内で実施することができるようになった。第1次試験は6月16日に実施し受験者は延べ48名で準2級10名であり第2次試験は7月14日に実施された。英検団体の申込み問い合わせは短大語学研究室坂本助教授(0466-84-3753)まで。

学内就職セミナーの開催

依然、厳しい状況におかれている就職戦々に勝つため昨年に引き続き学内において農学科、生活環境学科1、2年生の就職希望の学生を対象に当学科卒業生から経験を学ぶ就職セミナーが6月29日に開催された。卒業生8名が講師として出席され各々の体験を話され在学生参加者80名にとって貴重な資料を得ることができた。

会 員 数

今春、新に116名の準会員を迎えて会員数は946名となった。また準会員(在学生)は1年生116名(男子11名)、2年生130名(男子19名)計246名(男子30名)である。

卒業生の進路状況

就職32名、編入(他学部含)44名、他大学編入専門学校7名、アルバイト、留学16名、その他未定、不明26名、計125名。

◎事務局から

平成8年度総会・懇親会は11月22日(金)午後6時より東京渋谷区恵比寿ガーデンプレイス内、ピアステーションで開催されます。会員多数の参加をお待ちしております。(後藤 雅弘)

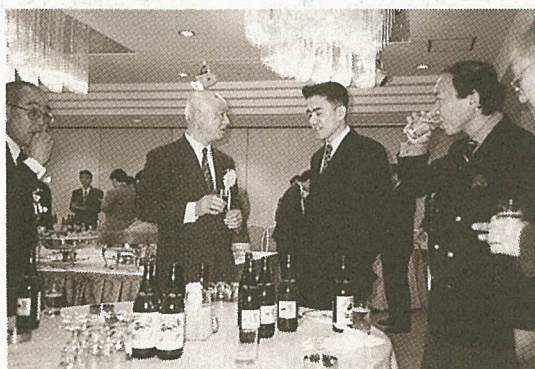
応用生物科学科校友会

◇応用生物科学科◇

連絡先 分子微生物学研究室
0466-84-3705 中嶋 睦安

第 4 回総会を開催

応用生物科学科校友会第 4 回総会・懇親会が、3 月 12 日(土)藤沢グランドホテルで開催されました。総会は、「平成 7 年度事業報告」、「会計決算報告」、「平成 8 年度事業計画」、「平成 8 年度予算案」に関する報告が行われ、いずれも満場一致で承認されました。総会終了後、懇親会が行われ、学部執行部・校友会関係者の臨席のもと、盛大に行われ、親睦深めました。



校友会の現状および本年度の活動行事

平成 8 年 3 月現在会員数は、708 名です。また、準会員数は 576 名で、その内訳は、4 年生 140 名、3 年生 124 名、2 年生 161 名、1 年生 151 名となっております。今年の校友会活動としては、恒例の研究室対抗ソフトボール大会(第 4 回)の開催を例年通り 10 月 10 日(金)に予定しております。この大会は、会員(卒業生)の参加も可能となっておりますので、皆様の参加をお待ちしております。

学科の近況

教職員関係の移動がありましたので、ご報告致します。池田和正専任講師(生体制御科学研究室)と砂入道夫専任講師(分子微生物学研究室)は、本年 4 月、助教授に昇格されました。おめでとうございます。また、本年 4 月青木俊夫氏が助手(生体分子学研究室)として着任されました。

高橋武美教授(生体分子学研究室)は、本年 8 月、定年により退職されました。引き続き非常勤講師としてご指導いただくことになっております。古野哲郎助手(生体分子学研究室)は、ご病気のため本年 3 月、退職されました。また、岩淵正明助手(核酸科学研究室)は本年 7 月、(株)フナコシに転出されました。ご活躍を祈念申し上げます。

事務局から

現在、応用生物科学科校友会では、以下の問題に直面しており、その対策に苦慮しております。

①校友会の総会、懇親会開催時の出席者数が少ないこと。②4 年時に徴収する校友会費(終身会費: 10,000 円)の集まりが悪いこと。

①については、総会開催時期の変更により対応したいと考えております。会員が卒業して間もないということもあり、忙しく時間がとれず参加できないという事情もあるかと思いますが、ぜひ参加していただきたいと思ひます。

従来、総会は年度末の 3 月に開催しておりましたが、第 5 回からは秋季に変えることが第 4 回総会で決定いたしました。これにより、次回(第 5 回)総会は、期間が短いため、紙上総会にしたいと考えております。

次に②についてですが、まず卒業時に収めていただく校友会費は応用生物科学科校友会が活発に活動するために必要不可欠なものであることを理解していただきたいと思います。現在、資金が少ないため、様々な活動はできませんが、将来的に応用生物科学科校友会から学生への奨学金の提供など、応用生物科学科の学生のためになる活動をしていきたいと考えております。校友会費の支払いは強制的なものではないのですが、この会費がスムーズに集まらなければ、応用生物科学科校友会の運営および今後の活動への支障となります。この問題について第 4 回総会で検討した結果、本校校友会としては、以下のような対応法が考えられました。

①会費徴収時期を卒業式修了後(3 月)から 3 年次研究室配属直後(11 月)に変更し、各研究室毎に担当者を決めて徴収する。②または、入学時、応用生物科学科校友会会費として徴収する。

なお、この問題に対するご意見、ご批判等ございましたら、事務局まで連絡して頂きたいと思ひます。応用生物科学科校友会の発展のために皆様のご協力をお願いいたします。(大谷 憲司)



支部だより

山梨県支部の近況

平成7年11月11日に石和観光温泉ホテルにおいて山梨県支部設立10周年記念の総会、懇親会を計画し、大学側からは、茂澤校友会会長、門田学部長、他5名の先生方、又、田中校友会県支部長等の来賓、そして多数の会員をお迎えし盛大に開催することができました。大学本部、支部会員の皆様に厚く感謝を申し上げます。

総会後、事務引継ぎ、払込口座の新設、事務局会議等を行いました。本年から県理事は21名から31名



に増員し、早速4月20日に理事会を開催し、議題として県支部会員名簿の発行、新入会員の就職斡旋等を決定しました。今回の県理事増員により県議会議長の相馬紀夫氏（林学、45卒）が新理事となりました。

県支部会員名簿の発行については、大学本部のご指導を戴きながら作業を進めております。県支部会員数は平成6年卒で約650名になります。県支部と致しまして今後、益々支部会員の増えることを願っておりますが、県支部としては、毎年、県下各高等学校への進学指導資料として会報を送付して生物資源科学部のご理解を得るように努めております。今後、県支部としてなにをなすべきか検討し進めて参ります。

連絡先 山梨市下神内川187-1
TEL 0553-22-2400 小越 昭雄

（支部長 小越 昭雄）

高知県支部の総会

第8回日本大学農獣医学部高知県支部総会は、平成8年8月31日高知の名所のはりまや橋のたもと土佐料理「まつみ」において開催しました。学部より高橋教授（食品経済学科）と茂澤杲（校友会会長）並びに高坂教授（いもづる会）の御臨席と、支部校友会会員23名が出席し、又このたびは、よさこい踊り



実行委員会に協力して戴きました間崎武臣先生（日本大学校友会高知県支部長・高知北病院院長）の出席を戴きました。

高橋教授から学部の名称の変更等の近況報告、茂澤会長から支部活動、又高坂教授からは高知は第二の故郷と、そして間崎先生から「よさこい'96」には久しぶりに日本大学チーム70名が参加の報告がなされ、中央と地方のつながりの場となった。

総会議案において、1号議案事業経過報告及び議決事項。2号議案決算報告。3号議案活動方針及び予算。について原案どおり可決され、活動方針について2～3年後には旅行を兼ねて支部との親睦会の提案が有り計画を進めることとし会員の参加協力で閉会した。

支部会長 長崎収夫（獣医学科31年卒）

〒780 高知市五台山4431-40 TEL0888-84-3651 高知県支部会員総数226名

連絡先 高知市高須1716-88
TEL 0888-82-8378 中西 孝彦

（事務局長 中西 孝彦）

台湾支部の活動状況

日本大学生物資源科学部と中華民国国立中興大学との学術交流促進訪問団は、門田定美学部長を団長、副団長には米田和夫教授、坪木良雄教授、福田陽一教授、藩英仁教授、渡部敏教授、望月篤教授、内田直行教授、朝比奈潔助教授、木村貞司助教授等計10名の諸先生が4月27日午前11時に台北中正空港に到着、校友会を代表して、台北市日本大学校友会副会長何是耕と校友会台湾支部長林義謙、事務局長徐慶旺、林淵煌学長等が空港まで出迎え、その夜は台北市在住の学長等10名が集り、共に晩餐会を催しました。翌28日台中に趣き、29日午前中は国立中興大学



学術交流促進訪問団と台湾校友会の理監事

との学術交流検討会を挙行了した後、台北市に再び帰り同日午後6時から、台北市来来大飯店地下一階大漢庁で来華訪問団の歓迎会を挙行了。この歓迎会は台北市日本大学校友会と農獣医学部校友会台湾支部の共同主催で、会長張武雄、副会長何是耕、副会長蘇振杰、副会長李良吉、台湾支部長林義謙の外30名の理監事達が出席し、楊忠藏総幹事の司会を初め、張武雄会長の歓迎の挨拶があり、続いて門田定美学部長の御挨拶があり、今後学校と校友会の連繋を強め、学校の発展と地域農業社会に貢献する等大きな期待がよせられました。

其他第二次訪問団として稲葉右二、福田陽一、渡部敏、藩英仁の各教授鎌田寛講師等5名が台中の国立中興大学並に嘉義、台南を経て、屏東市にある国立屏東技術学院と屏東縣家畜疾病防治所を訪問し、学術交流と猪の疾病に関する共同研究等につき討論されました。

尚、7月20日午前10時、台北市来来大飯店に於いて、第二屆第四次會員大会を挙行し、出席者25名、理監事任期満了の為選挙を行い、その結果、林義謙が支部長を継任することになりました。今後ともよろしく御指導を御願ひ申し上げます。

連絡先・中華民国台湾省屏東市杭州街36-2
TEL 08-7330131 林 義謙

(支部長 林 義謙)

山形県支部の近況

—総会— 平成7年度総会は平成8年2月17日に上ノ山温泉一泊で行われました。支部会長の田中氏の力強いあいさつの後に、経過報告(副会長桜井麻男氏の、東京本部総会出席報告を含めて)、決算、予算の承認があり、会員の一人でも多くの参加を呼びかけること、特に若い校友も多く参加し大学の近況等も知らせてほしい、等を決議しました。

—講演— 恒例になりました会員の講師による講演会は本年度は佐藤淳一氏(畜52年卒)にお願いし「米国民と過ごした日々」と題して講演をいただきま

した。氏は特に“畜産農家の理論と実際について”話をされ大変感銘をうけました。

—懇親会— 自己紹介、飲み食べながらの話に夢中でしたが、池田卓郎氏の音頭で日大節、小関忠昭氏の指揮による校歌の大合唱で散会しました。

—連絡— 毎年全員に案内を差し上げております。是非参加して下さい。

—訃報— 山形県農獣医学部支部副会長工藤昌司(獣25年卒)が7月23日に急逝されました。67歳でした。工藤氏は山形県職として、畜産業界に大きな業績を残され又農獣医学部山形支部創立に奔走されました。氏の在りし日の姿を偲び、謹んでご冥福をお祈りいたします。



連絡先 山形市大字門伝1061-4
TEL 0236-45-2042 安達 勇

(幹事長 安達 勇)



日本大学生物資源科学部湘南校舎電話番号一覧表 (0466-84-)

	室 名	教職員名	ダイヤル番号
執行部	学部長室	門田	3615
	事務局長室	山内	
	学務担当室	出口	3602
	担当 (学生担当)	石井	3603
	(研究担当)	勝部	3604
	(東京校舎担当)	高橋	3605
	(就職指導担当)	月瀬	3606
	事務長室	工藤	3612
	事務長 (東京校舎)	大沼	3613
	経理長室	渡辺	3614
事務局	執行部受付室		3615
	庶務課<課長>	松橋	3801
	教務課<課長>	松瀬	3810
	入試事務室		3812
	会計課<課長>	中野	3820
	学生課<課長>	瀬戸	3830
	医務室		3833
	学生相談室		3832
	管財課<課長>	山岸	3840
	図書館事務課<課長>	齋藤	3850
体育館・管理室	就職指導課<課長>	伊藤	3860
	研究所事務課<課長>	白川	3870
	付属施設事務課<課長>	佐藤	3880
	体育館・管理室		3890
	資料館		3892
	動物病院・受付		3900
	総合研究所・基礎学実驗室		3914
	農場・事務室		3921
	演習林		3930
	作物学	坪木、藤井、磯部	3620
植物資源科学科	花卉園芸学	米田、百瀬	3621
	果樹蔬菜園芸学	井上、立石	3622
	緑地環境計画学	勝野、藤崎	3623
	遺伝育種学	石井、野村	3625
	植物病理学	篠原、兼平	3626
	応用昆虫学	石原、岩野	3627
	造園学	高橋、葉山	3628
	獣医解剖学	月瀬、木村	3629
	獣医・組織発生学	岡野	3630
	獣医病理学	白井、佐藤、畔川	3631
獣医科学科	魚病学	渡邊、森友	3632
	獣医臨床病理学	藩	3634
	獣医微生物学	福田、鎌田、高玉	3635
	獣医公衆衛生学	勝部、丸山、森田	3636
	獣医放射線学	桑原	3637
	獣医生理化学	渡部、金井	3638
	獣医伝染病学	稲葉、中山	3639
	獣医ウイルス学	山浦、上床	3640
	獣医外科学	田中、小坂、山谷	3641
	獣医薬理学	浅野、木島	3642
動物資源科学科	医動物学	井上、野上、甲賀	3643
	獣医臨床繁殖学	武石、津曲	3644
	獣医生理学	遠藤、金山	3646
	獣医内科学	吉田、大場	3647
	実験動物学	門井、湯川	3648
	獣医第2病理学	藤原、貝瀬	3649
	獣医衛生学	酒井、上野	3650
	獣医第2内科学	村形、雨森	3651
	研究所教授室	太田、長尾	3755
	草地学	中西、丹羽	3652
動物資源科学科	動物生殖学	今井、甲斐	3653
	動物育種学	泉水、山室	3654
	畜産経営学	長野	3655
	"	小林、小泉	3656
	動物生態機構学	西田、川路	3657
	生産環境学	塩谷、園田	3658
	飼養学	柴田、小牧、長谷川	3659
	畜産食品科学	森地、青木	3660

	室 名	教職員名	ダイヤル番号
科学部資源	畜産食品科学	宮原	3661
	"	増田	3662
	森林動物学	山根	3663
	"	岩田	3664
	造林・風致学	片岡	3665
	"	本江、鍛代	3666
	木材科学・工学	石津、高柳	3667
	"	濱本、宮野	3668
	住宅・木材流通	井上	3669
	"	堀江	3670
森林資源科学科	森林測定・経済学	田中	3671
	"	塩澤	3672
	"	増谷	3673
	森林環境保全	難波、瀧澤	3674
	"	石垣	3675
	林学資料室	脇、杉測	3676
	水産生物学	東、朝比奈、小橋	3677
	魚医学	廣瀬	3678
	水産増殖学	出口、青野	3679
	"	杉田	3680
海洋生物資源科学科	水産生物化学	西出、大岩	3681
	水産分子生物化学	内田	3682
	水産利用学	望月、宮内	3683
	"	松宮	3684
	海洋学	門田	3685
	"	廣海、木下	3686
	漁業生産学	添田	3687
	"	余座、小島	3688
	水産資源情報	吉原	3689
	食資源利用工学	森嶋、富田	3690
生物環境工学科	生物生産機械学	世良田、宮本、内ヶ崎	3691
	土木施設工学	山野、辻、青木	3692
	水資源利用工学	志村、石川	3693
	農地整備学	白岩、齋藤	3694
	農業施設学	長島、川西	3695
	地域保全工学	河野、小林	3696
	建築・農村計画学	岡本、糸長、山崎	3697
	核酸科学	井上、岩瀬	3698
	動物細胞学	和氣、苔名	3699
	蛋白質科学	名取、張、土岐	3700
応用生物科学科	生命工学	別府	3701
	"	上田	3702
	生体分子学	高橋、綾部、青木	3703
	植物細胞学	小山、内山	3704
	分子微生物学	中嶋	3705
	"	砂入	3706
	生体制御科学	佐藤、池田、高橋	3707
	倫理学	和田	3708
	国語・国文学第1	井草、田村	3709
	"第2	青木	3710
一般教養	心理学	河嶋、高久	3711
	法学・社会学	門馬、池田	3712
	経済学	小峰	3713
	哲学	笹井	3714
	数学	五十嵐	3715
	"	根本	3716
	物理学第1	中村	3717
	"第2	小原	3718
	化学第1	前嶋	3719
	"第2	片瀬	3720
生物資源科学科	生物学第1	都留	3721
	"第2	白戸	3722
	地学第1	廣瀬	3723
	"第2	大島	3724
	地学第1	井東	3725
	"第2	田中	3726
	統計学	田川	3727
	英語第1	此村、佐藤	3728

〔0466-84-〕

室名	教職員名	ダイヤルイン番号
英 語第2	長谷川、澤田	3729
" 第3	佐藤、中里	3730
" 第4	小山、糸賀	3731
" 第5	三浦	3732
独 語第1	金森、伊藤	3733
" 第2	小松崎、落合	3734
中国語・仏語	濱崎、水野	3735
体育学 1	林、難波	3736
" 2	川島、富山	3737
" 3	川島、稲垣、梶山	3738
教養基礎学	斉藤	3739
諸課程第1	亀山、秋元	3740
" 第2	奥谷	3741

室名	教職員名	ダイヤルイン番号
短大農学科 園芸学第1	武田、寺澤	3742
" 第2	土岐、渡邊	3743
応用生物化学	安斎	3744
植物生体制御学	楠元、小田垣	3745
情報処理学	青山	3746
環境生態学	浅野	3747
食 品 学	成田、大川	3748
短大生活環境学科 生活経済学	小野	3749
環境科学	飯塚	3750
住 居 学	飯尾	3751
ランドスケープ室	島田	3752
語 学	坂本	3753
体 育 学	後藤	3754
指導室		3756

日本大学生物資源科学部東京校舎電話番号一覧表 (03-3421-)

室名	教職員名	ダイヤルイン番号
学部長室	門田	8122
事務局長室	山内	
学務担当室	出口	9213
学生担当室	石井	9235
研究担当室	勝部	9246
東京校舎担当室	高橋	9267
就職指導担当室	月瀬	9309
事務局次長室		9324
事務長室	工藤	9349
事務長室(東京)	大沼	9369
経理長室	渡辺	9403
執行部受付室		8122
<課 長>	高嶋	6108
<教務係>		8123
<学生係>		8124
<管財係>		8125
<図書係>		8126
<就職係>		8127
医務室		8128
学生相談室		6484
総合研究所・管理室		9132
国際地域研究所		9172
R I 研究室	三宅	9172
食品加工実習センター		9178
校友会事務局	石川	8332
生物有機化学	奥	5402
生物有機化学実験室	西尾	5406
食品化学	熊谷	5416
食品化学分析室	櫻井	5429
栄養生理化学	有賀	5436
栄養生理化学実験室	関	5441
微生物学	徳山	5448
微生物学機器室	高橋	5476
植物栄養生理学	矢崎、野口	5483
植物栄養生理学実験室	長谷川	5492
微生物化学	大石	5499
微生物化学実験室	加藤、萩原	5573
土壌学	山本	5587
土壌学実験室	隅田	5594
産業社会学	高坂、清野	5603
経営学第二	齋藤	5642

室名	教職員名	ダイヤルイン番号
食品産業論	上路	5648
食生活経済論	安村	5654
食品商品学	稗貫	5745
食料政策	大矢	5789
食品流通	伊豫	5791
経営学第一	高橋、儀田	5833
食品資源	下渡	5859
地域産業	上野	5863
会計学	木島	5865
法律学	小野田	5870
統計資料室	松本、大澤	5873
経済統計学	清水	5917
食品製造学第一	山内	5919
" 第二	木村	5920
" 第三	平田	5929
食品化学工学第一	鈴木、和田	6004
" 第二	陶	6015
食品理化学第一	露木、前川	6044
" 第二	伊藤	6049
" 第三	竹永	6075
食品分析学第一	武田	6193
" 第二	千野、松藤	6194
食品製造工学第一	鈴木、阿部	6208
" 第三	鈴木	6225
食品保蔵学第二	萩原	6281
" 第三	梅澤	6283
資源作物	廣瀬、岡	6286
環境農学第一	倉内	6288
" 第二	林	6297
生産技術	権丈	6299
拓植語学第一	相座、藤田	6349
" 第二	陳	6359
国際協力第一	山田	6367
" 第二	半澤	6372
拓植第一	緒方	6384
" 第二	井上	6396
経済第一	遠藤、江南	6399
" 第二	上原	6404
国際経済第二	長谷川	6412
経営第二	早川	6437

校友の皆様へ 本学部の電話は、ダイヤルインになりました。4月発行の資料を用いましたので、現在と異なる所があります。また、誌面の都合上、一部割愛させていただきました。ご了承下さい。

日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会役員・事務局名簿

名誉会長 門田定美(水産・海洋) 生物資源科学部長

〃 斎藤公三(農工・環工) 日本大学生物資源科学部

会 長 茂 澤 泉(農化) ㈱モザワ商店

〃 関村具由(食工・食科) 三凱商事

副会長 富 澤 寿 樹(短農) ㈱マルナカ

〃 大瀧博久(食工・食科) 日新化工㈱

〃 近藤良三郎(拓植・国際)

〃 青井幸雄(食工・食科) 日本大学生物資源科学部

〃 村田 昇(農工・環工) 中央開発㈱

〃 水野包男(拓植・国際) ㈱協和組

幹 事 西鳥羽曙(農学・植物) ㈱博友社

〃 浜口喜博(拓植・国際)

〃 浅野 明(農学・植物) 日本大学通信教育学部

〃 富 樫 利 男(短農)

〃 坪木良雄(農学・植物) 日本大学生物資源科学部

〃 楠 元 守(短農) 日本大学短期大学部

〃 江 刺 琢 磨(農化)

〃 岡 崎 祥 子(短生) 住友銀行

〃 木 嶋 弘 倫(農化) 豊栄産業㈱

〃 清 水 由 佳(短生)

〃 日 比 野 次 郎(獣医)

〃 飯 塚 統(短生) 日本大学短期大学部

〃 若 尾 良 知(獣医)

〃 大 谷 憲 司(応生) ㈱スリオンテック

〃 吉 田 仁 夫(獣医) 日本大学生物資源科学部

〃 中 村 親 民(応生) 広島大学医学部

〃 平田芳弘(畜産・動物) 神奈川県家畜産物衛生指導協会

〃 津久井 通(応生) 東京大学大学院

〃 岩間 脩(畜産・動物) パッカス商事㈱

金 長 賞 選考委員 水野包男(拓植・国際) ㈱協和組

〃 小牧 弘(畜産・動物) 日本大学生物資源科学部

〃 小 泉 香 織(短生) ㈱富士通ソーシャルシステムエンジニアリング

〃 三 木 敏 夫(食経) ㈱マミーチェーン

〃 江 刺 琢 磨(農化)

〃 村 山 進(食経) ㈱コストムヨング

監 査 山 根 勝 次(食経) 日本大学生物資源科学部

〃 安 村 碩 之(食経) 日本大学生物資源科学部

〃 西山栄一(農学・植物) 種藤商店(自営)

〃 鹿野 忠(林学・森林)

〃 野田郁夫(林学・森林) 昭和エーテル㈱

〃 宮島吉夫(林学・森林) 農林漁業信用基金

事務局長 木村貞司(畜産・動物) 日本大学生物資源科学部

〃 濱本和敏(林学・森林) 日本大学生物資源科学部

局 員 本江一郎(林学・森林) 日本大学生物資源科学部

〃 竹内 均(水産・海洋) 竹内商事

〃 世良田和寛(農工・環工) 日本大学生物資源科学部

〃 櫻木 進(水産・海洋) 川崎公害監視センター

〃 丹羽美次(畜産・動物) 日本大学生物資源科学部

〃 田中祥皓(水産・海洋) ㈱幸伸商会

〃 千野 誠(食工・食科) 日本大学生物資源科学部

〃 鈴木昌二(農工・環工) 世田谷区議会

発 行 所

日本大学生物資源科学部・農獣医学部校友会

(湘南校舎) 〒 252 神奈川県藤沢市亀井野1866

(東京校舎) 〒 154 東京都世田谷区下馬3の34の1

電 話 03-3421-8332

F A X 03-3421-4744

編集・発行 会報編集委員会

委員長 富澤 寿樹

印 刷 所 東京商工株式会社